

第2回福知山市広報戦略検討委員会

日時：令和6年12月2日（月）
午後5時00分～
場所：市民交流プラザふくちやま
アトリエ（4階）

次第

- 1 開会
- 2 事務局説明
 - （1）本委員会の設置目的等について
 - （2）第1回委員会について
 - （3）第2回市民ワークショップについて
- 3 福知山市広報・広聴の方向性について
- 4 閉会

福知山市広報戦略検討委員会では

1 福知山市広報戦略検討委員会設置要綱第1条（目的）

「市の広報・広聴のあり方について検討し、効果的・効率的な広報・広聴につなげるため、「福知山市広報戦略検討委員会」（以下「委員会」という。）を設置する」

2 福知山市広報・広聴のあり方とは、

- ・ 市政情報を広く市民に伝え、市民の要望や地域の情報をよく把握した上で業務を進める
- ・ 広く報じる、だけでなく、市民との関係性をよりよくしていく
- ・ 市民と市との情報共有を図りよりよいまちづくりにつなげる

3 福知山市広報・広聴の取組・課題

・ 広報の取組

広報ふくちやまの発行／HP、SNS の運用

市長記者会見、記者レクチャー、プレスリリースなどメディアへの市政情報の配信

緊急広報（事故・災害）／市政の記録・保存

全庁的な広報力の向上支援（発信情報の整理・広報研修）

・ 広聴の取組

各窓口での相談／HP 等問合せ／声の箱

パブリックコメント／まちづくりミーティング

・ 課題

市と市民との情報共有、コミュニケーション不足（フクレルや、文化ホールの再検討）

職員の広報・広聴への意識の違いがあり、効果的な広報・広聴につながらない

多種多様な広報手段に対応する職員のマンパワー、スキル不足

広報に比べ広聴業務を行う体制、仕組みが少ない

市民の情報取得に関する行動、ニーズの変化による情報共有の難しさ

今一度、広報・広聴の方向性を見直し、修正、確立する必要がある

4 市民ワークショップと広報戦略検討委員会の違い

市民ワークショップでは、市民アンケートを基に福知山市広報・広聴の課題、アイデアを出す場であり、広報戦略検討委員会では市民アンケート、ワークショップを踏まえて福知山市広報・広聴の方向性を考える場

5 広報戦略検討委員会では、

- ・ 市民アンケート、市民ワークショップで出た課題やアイデアを基に、福知山市の広報・広聴のあるべき姿に向けて、どう取り組んでいくかを検討する
- ・ 市外への広報（シティプロモーション）ではなく、市民と市とのコミュニケーションのための広報・広聴について検討する

○課題・意見

（広報・広聴の方向性に関すること）

- ・これまで福知山市広報に戦略的が欠けていた可能性がある
- ・他の自治体との比較や人口比での評価、事業ごとの目標値がない
- ・情報のターゲットを明確にし、届ける、ターゲット別の発信
- ・例えば高齢者や若者、情報が届きにくい層にどう伝えていけるか
- ・市民目線でわかりやすく親しみやすい広報が必要
- ・委員の中で『目標』や『目的』をはっきりさせることが大切、言葉の定義の共通認識を
- ・目標を設定し、その評価基準を作る、目標は具体的で、評価可能なものにするべき
- ・こちらが何を求めているのか、どうして欲しいのかを聞いてくれる場所が少ない
- ・情報は受け取るが、何かを伝える段階まで進まない
- ・情報が多すぎるとしんどい、どうやって情報を整理してうまく伝えられるか

（具体的な広報手段・方法に関すること）

- ・市役所内での情報の流れ、各課から上がってきた情報をそのまま配信している
- ・各コンテンツの重要性
- ・広報ふくちやまに目次を追加する
- ・外国人向けの情報発信に力を入れる
- ・福知山は口コミの力が強く、情報が町中に広がるスピードも速い、その力をどう活用するか
- ・市役所に大きなフローチャートを掲示して、どこに行けば知りたい情報が得られるのか、分かるような仕組みを作る
- ・広報ふくちやまが大学生に届いていない
- ・YouTubeの活用、若者向けに福知山の魅力を伝える1～3分の動画を制作し、発信する
- ・福知山専用のSNSがあればいい
- ・SNSを使えば、誰でも簡単に情報を発信できるし、もっと身近に感じられる
- ・市役所からも市民に向けて必要な情報を提供できる双方向の仕組みが必要
- ・自治会のコミュニティをどう活用していくか、そしてどう組み合わせしていくか

（その他）

- ・今回のワークショップで出た意見をどのように活かしていくか
- ・アンケート結果の評価の形がわからない（他の自治体と比べてどう評価されているのか）
- ・様々な部署が実施する市民参加型の業務は広聴の一環であり、市全体で進めるべき
- ・行政側が計画の素案を8、9割決めてから意見を求めるのではなく、市民が参加する段階を早期に設定し、共同作業で進める
- ・アンケート、ワークショップへの参加者の属性が偏らないように意識すること
- ・福知山のすばらしさをいかにして、ターゲットをどこに絞って売っていくか
- ・市長や事務局が熱意を持ち、その熱意を市民に伝えることが重要
- ・秘書広報課がどのような仕事をしているのか、明確にする必要がある
- ・市民ワークショップで広報誌について話をした際、参加者は70代や80代の方が多かったの
で、意見が活発に出てこなかった

これまでの市の広報・広聴に係る取組について

○ 広報ふくちやま（市民の行動変容とまちへの愛着形成が目的）

A4判、雑誌型、全ページ4色刷、毎月号、決算特別号、予算特別号

一回当たり 32,950 部発行 毎月号…20～32ページ、特別号…8ページ

2020年の全国広報コンクールでの総務大臣賞をはじめ、全国、京都府の広報賞で評価されている。

舞鶴 A4判、24ページ、フルカラー 40,300部発行

綾部 A4判、16ページ、4色刷り 16,200部発行

○ ホームページ（市政情報発信のプラットフォーム）

・市の情報を入手する際にまずホームページを検索されるなど、情報発信のプラットフォーム

・市政、観光、イベント情報などタイムリーに発信することで市に対する理解と周知を図る

アクセス数（本市ホームページを見た人）

年度	R1	R2	R3	R4	R5
アクセス数	1,578,784	4,338,048	5,351,062	3,009,656	1,959,238
月平均	131,565	361,504	445,922	250,805	163,270
日平均	4,244	11,661	14,385	8,090	5,267

(R5) 舞鶴 年度 2,960,000 件 月 246,000 件 綾部 年度 640,000 件 月 53,000 件

* カウント方法、ターゲットが各々であり、アクセス数比較は参考程度

○ 福知山市公式SNS「LINE」（知りたい分野の市政情報だけが届く）

・様々な市政情報を積極的に発信・提供することで幅広い世代への理解、参画を促す

・基本1日1回、観光・イベント情報、災害情報などを発信

年度	R1	R2	R3	R4	R5
登録者数	3,692	7,401	11,378	12,582	13,296
発信件数	194	179	462	413	280

舞鶴 登録者 10,426 人 綾部 登録者 6,357 人

○ 福知山市公式SNS「フェイスブック」（まちの話題をレポート）

・福知山市に住む人や働く人が福知山の魅力を再発見し、愛着を持ち、まちを市外の人に対しておすすめできるきっかけを作る

年度	R1	R2	R3	R4	R5
登録者数	—	—	—	—	3,149
いいね数	2,032	2,432	2,577	2,689	2,737

舞鶴 登録者 2,965 人 いいね 2,552 件 綾部 登録者 2,278 人 いいね 2,008 件

○ 福知山市公式 SNS 「ツイッター」(光秀・鬼ファンを福知山ファンに)

- ・注目度が高まっている機会を逃さず、拡散力の高い媒体として、特に若い世代に向けて情報発信

年度	R1	R2	R3	R4	R5
登録者数	2,184	2,936	4,633	4,981	5,221
投稿件数	—	—	—	—	333

舞鶴 登録者 784 件 綾部 なし

○ 福知山市公式 SNS 「インスタグラム」(福知山の“意外なステキ”を見つけて発信)

- ・まちの魅力を発信し、まちのイメージ向上を図る
- ・福知山の「いいなステキ」を発信していくためのプラットフォーム

年度	R1	R2	R3	R4	R5
登録者数	3,385	5,942	6,997	7,798	8,492
投稿件数	114	153	96	49	39

舞鶴 登録者数 7,249 人 綾部 なし

○福知山市 YouTube (PV からお役立ち動画まで)

- ・イベントや観光など市の魅力を撮影した動画やプロモーション動画、各課からの動画を配信

年度	R1	R2	R3	R4	R5
登録者数	344	987	1,859	2,200	2,351

舞鶴 登録者 1,880 人 綾部 3,230 人

○福知山市 note (R4.9.9 開設・福知山の暮らしと想いを伝える)

- ・福知山のヒト・モノ・コトに関するストーリー、福知山市の取組やその背景と想いを伝える

年度	R4	R5
フォロワー数	65	114
記事件数	15	30
総 PV 数	7,724	26,184

舞鶴 (デジタル推進課) フォロワー16 人 綾部 なし

○その他

年度	記者会見		記者レクチャー		広報カード	プレスリリース
R1	14 回	43 件	11 回	13 件	1,500 件	22 件
R2	14 回	25 件	6 回	9 件	1,514 件	42 件
R3	12 回	31 件	15 回	20 件	1,435 件	61 件
R4	12 回	29 件	12 回	12 件	1,454 件	65 件
R5	12 回	31 件	9 回	9 回	1,534 件	55 件

○広聴に係る取組

HP での問合せ

年度	R1	R2	R3	R4	R5
件数	560	1,047	1,191	1,253	1,347

声の箱（市役所 1 階市民課に設置してある投書箱）

年度	R1	R2	R3	R4	R5
件数	64	50	59	41	33

パブリックコメント（市が規則、計画など制定するとき、広く意見や改善案など求める手続き）

年度	R1	R2	R3	R4	R5
コメント数	28	23	87	165	234
案件数	6	8	11	8	6